

将棋頭山（桂木場ルート）

2015年12月26日（土）・12月27日（日） 曇りから雪時々吹雪

メンバー：佐々木（単独）

冬型の気圧配置が強まり、東北や北海道は大荒れの予報。
ようやくまとまった積雪がありそうだと期待して、将棋頭山を目指した。
今回の山行テーマはラッセルトレニング。
一晩中降り続いた新雪と戯れて、良いトレニングができた。

アクセス：

桂木場への林道は、手前のキャンプ場で閉鎖されている。

12月26日（土）：

キャンプ場や桂木場には全く雪がなかった。稜線を見上げれば厚い雲が覆っている。

1500m辺りからようやく雪景色となった。所々凍結しているがアイゼンが欲しいほどではない。結局、ノーアイゼンのままで大樽小屋に到着した。



キャンプ場前の駐車場所：
翌日は、積雪で落ち葉や草が
すっかり隠れていた。



ようやく、少し雪景色。



大樽小屋

12月27日（日）：

一晩中雪が降り続き、すっかり冬山に様変わりしていた。

同宿になった一人の方が先に出発。後を追って行くと六合目あたりで、「雪が深くて厳しいです。帰宅時間のこともあり撤退します。」とのこと。

そこから延々と一人ラッセル。（山行テーマにぴったり）

所々、ズボッと腰まではまり込んだりしながらどうにか主稜線へ。

幸い降雪は小康状態だが、風が強くて顔が上げ辛い。おまけに視程が悪くって山頂までの距離感がつかめない。時折、耐風しながら進んでいたところ、タイムリミットぎりぎりまで西駒山荘と将棋頭山の山頂が目に飛び込んできた。

残念なことにデジカメが低温にやられてバッテリー切れ。頂上の写真は撮れず仕舞いだった。

そんなことなら長居は無用。早々に大樽小屋に下りてデポしてあった荷物を片づけ、雪化粧の桂木場に下山した。

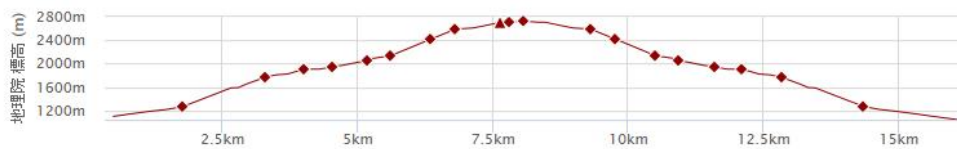
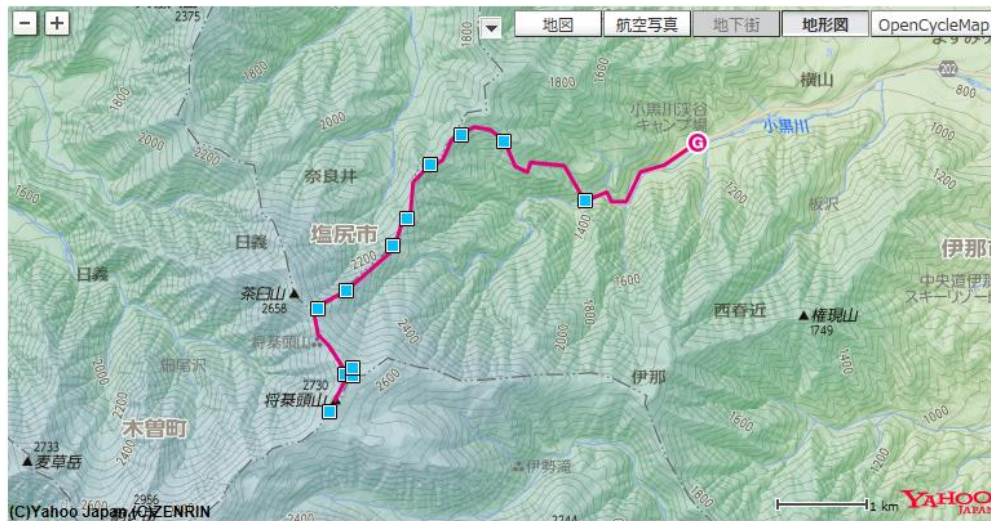


一晩で様変わり。



主稜線：視程が効いてこの程度。

行動概要



1 日目

桂小場 10:00 12:50 大樽小屋泊

2 日目

大樽小屋 06:40 07:20 胸突八丁 07:30 08:50 津嶋神社 09:00 10:00 胸突の頭

10:10 11:40 将基頭山 11:50 13:30 大樽小屋 14:00 15:35 桂小場 15:40

(佐々木 記)